

笑い合える人がいれば、
ささやかでも
人生はきつとバラ色。



ヴェネチア国際映画祭 主演女優賞 受賞

米 アカデミー賞® 外国語映画賞 香港代表作品

第31回香港電影金像獎 主要5部門受賞 / 第48回台灣金馬獎 監督/主演男優/主演女優賞 受賞

タオ

A Simple Life

桃さんのしあわせ

A Simple Life an Ann Hui Film

Bona Entertainment Co Ltd, Focus Films Ltd & Sii Metropole Organisation Ltd Present Starring Andy Lau, Dennis Ip, Wang Fuli, Qin Hailu

Co-starring Pui Chiang, Leung Tin, Wendy Yu, Eman Lam, Elena Kong, Jason Chan, Hui Si Ying with Special Appearances by Anthony Wong, Chapman To, Lam Ka Tung, Law Lan, Jim Chim, Tam Ping Man

Enn Lai, Alcaradi Jiang, Queenie Chu, GS Tyson, Wada Hiroshi Guest Appearances by Raymond Chow, Yu Dong, Tsz Hark, Summi Hung, Mak Yau Sau, Lawrence Lau, Dennis Chan, Ning Hao, Enoch Lam

Production Designer Albert Poon, Styling Consultant Man Lim Chung, Costume Designer Bocy Wong, Original Music by Law Wing Fai, Director of Photography Yu Lik Wai, Edited by Eric Kong Chi Leung (H.K.S.E.), Manda Wai, Sound Design by Tu Don Chih

Executive Producers Yu Dong, Andy Lau, Song Dai, Administrative Producers Jeffrey Chan, Simon Li, Ren Yue, Associate Producers Nanaun Shi, Cheung Hong Tat, Stephen Lam, Line Producer Zhang Hao, Soe Young Ping

Produced by Chan Pui Wah, Screenplay by Susan Chan, Produced and Screenplay Co-written by Roger Lee, Produced and Directed by Ann Hui, distributed by Distribution Workshop (HK) Limited ©2012 Bona Entertainment Co. Ltd. All rights reserved.

監督:アン・ホイ(許鞍華) 脚本:スーザン・チャン(陳淑賢) 撮影:ユー・リクワイ(余力為) 出演:アンディ・ラウ(劉德華)、デニー・イップ(鄧德曜)、チン・ハイルー(秦海璐)、チョン・ブイ(陳沛)、サモ・ハン(洪金寶)、アンソニー・ウォン(黃秋生)、ツイ・ハーク(徐愛)
原題:桃姐/2011/中国・香港/広東語/119分/ビスタドルビーSRD 字幕:遠藤壽美子 後援:香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部 宣伝:ザフィルムズ 提供・配給:ツイン

60年間、同じ家族に仕えてきた
桃さんの、人生の終い支度。
人と人との絆の尊さを描き、
ヴェネチア、アジアを涙でやさしく包み込んだ
実話から生まれた、感動の物語。

ヴェネチア国際映画祭

(主演女優賞、平等機会賞、ジャンニ・アストレイ賞、ナザレノ・タッディ賞、SIGNIS賞)

米 アカデミー賞®外国語映画賞ノミネート 香港代表作品
アジア・フィルム・アワード (主演女優賞、ピープルチョイスアワード男優賞)
香港電影金像獎 (作品、監督、主演男優、主演女優、脚本賞)
台湾電影金馬獎 (監督、主演男優、主演女優賞)
香港批評家協會賞 (作品、主演女優賞)
タリン・ブラック・ナイツ映画祭 (監督、主演女優、FICC審査員特別賞)
香港監督組合賞 (年間最優秀推薦作品、監督、特別名譽賞)
沖縄国際映画祭 (ゴールデンシーサー賞、海人賞)

いつも、あなたがいてくれた...。
実話から生まれた、
ささやかだけど、
大きな愛に包まれた物語。

60年間、同じ家族に仕えてきたメイドの桃さんが
ある日脳卒中で倒れた。

日々の暮らしの中で、最低限の言葉しか交わさず

ごく当たり前に身の回りの世話を任せていた雇い主の息子

映画プロデューサーとして働くロジャーは

その時初めて、桃さんがかけがえない人だったことに気づき

多忙な仕事の合間を縫い、介護に奔走することになる。

迷惑をかけまいとする、穏やかだが芯の強い桃さん、

老人を巡る社会環境の現実を目の当たりにしながらも

献身的に尽くすロジャー、

ふたりは、やがて母と息子以上の絆で結ばれていくが...

本作のプロデューサーでもある

ロジャー・リーの実体験を元にした感動のストーリーが

実話の持つリアリティと説得力で

単なる美談を超えて、観る者の心に明かりを灯します。

アジア各国で大ヒット!

幸せに逝くために、悔いなく葬るために、桃さんが教えてくれた、いちばん大切なこと。



今春、中国、香港、台湾で公開されて以来、15億円以上の興収を上げ、非アクション映画としては異例の大ヒットとなった本作。そのヒットの要因は、誰にでも訪れる“老い”の現実を、やさしく、温かく描いたことにある、と

人生の終い支度の季節を迎えたとき、そばに誰かがいてくれることの幸福、いつの世にも変わらない人と人との絆の尊さが、シンプルに、ストレートに、伝わったからに他なりません。

また、公開後、中国ではネット上に「分かってるよ!いちいちうるさいな!」などの“両親に言うてはいけない9つの言葉”を紹介した匿名の書き込みが出現、ニュースで取り上げられ大きな反響を呼びました。その背景は、本作を観て親孝行の大切さに気づいた若者が反省したのでは、と分析されたほど。中高年齢層に限らず、あらゆる世代に愛された作品と言えます。



ヴェネチアを皮切りに、映画賞を席捲! 大スターと、往年の名女優、 アジアを代表する女性監督の奇跡のコラボ。

本作を真っ先に評価したのは、昨年9月のイタリア・ヴェネチア国際映画祭、10年ぶりの銀幕復帰となった、桃さん役の名女優ディニー・イップの主演女優賞受賞のニュースが、世界に配信されました。それを皮切りに、台湾金馬獎で主要3部門、香港金像獎では最多主要5部門を総なめ。今なお各国の映画祭に招聘され続けています。

監督は、アジアを代表する女性監督アン・ホイ(『女人、四十。』)。普遍的なテーマを、細やかな演出で、時にユーモアを交えながら美しく描きます。

ロジャー役には、本作の企画に賛同し、共同プロデューサーにも名を連ね、ノーギャラで出演したアジアの大スター、アンディ・ラウ。50歳を過ぎた市井の独身男役で、新境地を開拓しているのも話題です。ツイ・ハーク、サモ・ハン、アンソニー・ウォン等、香港映画人が大挙出演しているのも、見どころのひとつ。

監督:アン・ホイ(許鞍華) 脚本:スー・サン・チャン(陳淑賢) 撮影:ユウ・リクワイ(余力為)

出演:アンディ・ラウ(劉德華)、ディニー・イップ(葉德嫻)、チン・ハイレー(秦海璐)、チョン・バイ(秦沛)、サモ・ハン(洪金寶)、アンソニー・ウォン(黃秋生)、ツイ・ハーク(徐克)

原題:桃姐/2011/中国・香港/広東語/119分/ビスタ/ドルビー・SRD 字幕:遠藤海美子 後援:香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部 宣伝:ザ・フィルムズ 提供:配給:ツイン ©Bona Entertainment Co. Ltd. www.taosan.net

10月 魂ふれあうロードショー!
特別鑑賞券 絶賛発売中! ¥1,500 (税込/当日一般¥1,800の処)

劇場窓口にてお買い求めのお客様に限り、「桃さんの“ももいろお箸”」をプレゼント!

渋谷・東急本店ヨコ
Bunkamura ル・シネマ
03(3477)9264 <http://www.bunkamura.co.jp>

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

ONION 信濃星 KIRIN HITACHI UXXI 各東急グループ

全席指定・定員入替制

上座開始後の入場はできません。遅席状況をご確認の上お出掛け下さい。

●毎週火曜日は、1,000円で鑑賞頂けます。●オンラインチケットが購入可能です。詳細は劇場HPをご覧ください。

全席指定席になりました。詳細は劇場HPまで。